



調査船「弁天丸」を活用した体験学習

はじめに

札幌開発建設部では、河川管理に係る各種調査を行う調査船「弁天丸」を小学校の体験学習支援等に活用しています。船から川を見ることで、川と私たちの暮らしの関わり、生き物たちを育む水の大切さなどを感じ取るきっかけづくりにしてほしいと願っています。



調査船「弁天丸」を使った学習のあらまし

体験学習の目的

小学生を対象とし、学校等と連携して、石狩川流域の「治水事業と河川管理施設の機能」、「災害の歴史や防災」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」等について学習支援を行うことにより、河川環境保全意識や防災意識の向上を図ることを目的としています。

体験学習支援の対象と実施期間

- ・対象：小学生
- ・期間：6月～10月下旬（事前申し込みが必要。予定乗船回数になり次第、受付終了）

調査船の発着

- ・調査船の発着場所は次の2か所です。
※発着場所までの移動手段の用意はありません。各自ご用意ください。

石狩地区地域防災施設(川の博物館)

住所：石狩市新港南
1丁目 28-24

※北海道中央バス「石狩線」
「札幌線」「石狩新港線」の
バス停「6線」より徒歩5分



江別河川防災ステーション

住所：江別市大川通 6

※JR江別駅より徒歩 15分
北海道中央バスのバス停「東
光町入口」より徒歩 10分
※月曜日休館。月曜日が祝日の
場合は、翌日が休館日



申込み先

詳しい申込み要領は、札幌開発建設部URLをごらんください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluhh400000059ip.html



ルートと乗船人数

基本のルートは、下記の3通り（石狩の2ルート、江別の1ルート）です。各ルートの標準的な所要時間は約40分です。

乗船人数は、ガイドが2名乗船しますので、1回大人10名までとします。児童の乗船には引率の大人が最低1名必要で、12歳未満の小児は2名で大人1名分と数えます。これを超える場合は、班分けをして乗船することになります。

石狩地区（茨戸川、石狩川）

発着場所：石狩地区地域防災施設

＜茨戸川上流ルート＞ルート図P3参照

石狩地区地域防災施設→花畔大橋→水生植物群落（折り返し）→石狩地区地域防災施設

＜茨戸川下流ルート＞ルート図P4参照

石狩地区地域防災施設→定置網群→志美運河→石狩河口橋（折り返し）→石狩地区地域防災施設

江別地区（千歳川、石狩川）

発着場所：江別河川防災ステーション

＜江別ルート＞ルート図P5参照

江別河川防災ステーション→千歳川・石狩川交差点→石狩大橋→ショウドウツバメ営巣地→旧豊平川合流点→新石狩大橋（折り返し）→江別河川防災ステーション

※天候状況により、体験学習の中止、ルートの変更がある場合があります。

※上記所要時間のほかに、離着岸と乗船、下船を合わせて10分程度の時間を必要とします。

学習テーマとプログラム案について

調査船を活用した体験学習は、原則として船上学習と陸上学習を合わせて行います。茨戸川上流・下流ルートの陸上学習では、地域防災施設周辺の植物観察を、江別ルートでは江別河川防災ステーションの施設見学を予定しています。また、参加人数が多い場合や特に希望がある場合は水防災や河川環境に関する学習プログラムも準備します。

石狩地区（茨戸川、石狩川）

＜体験学習のテーマ＞

- 石狩川と茨戸川の関係を知ろう。
- 茨戸川の自然を観察しよう。
- 水防災について知ろう。

陸上学習：地域防災施設（川の博物館）の施設見学

江別地区（千歳川、石狩川）

＜体験学習のテーマ＞

- 川と暮らしについて考えよう。
- 川のまちの歴史を知ろう。
- 水防災について知ろう。

陸上学習：施設周辺の植物採取と観察

石狩地区／茨戸川上流ルート図



ルート概要：石狩地区地域防災施設 → ヨシ、マコモ群落 → 花畔大橋
→ ヒシ等の水生植物群落（折り返し）→ 石狩地区地域防災施設 所要時間：約 40 分



石狩地区／茨戸川下流ルート図



ルート概要：石狩地区地域防災施設 → 定置網群 → 生振マリーナ → 志美運河 → 石狩川 → 石狩河口橋（折り返し）→ 石狩地区地域防災施設 所要時間：約 40 分



レンガ倉庫と洪水水位表示

ルート概要：江別河川防災ステーション → 王子製紙工場 → 石狩大橋 → ショウドウツバメの営巣地 → 新石狩大橋（折り返し）→ 江別河川防災ステーション
所要時間：約 40 分





体験学習の様子 ～石狩ルート



乗船前にライフジャケットを着て、注意事項を聞きます。



デッキに出て川の観察をします。普段とは違った視点で川を見ることができます。



下流ルートは、志美運河を通り石狩川へ
上流ルートは、茨戸川を観察します。



参加者はカード資料を見ながら、クイズ形式で川の学習をします。



船内の座席や机を使って、学習ができます。
トイレもあります。



見かけた鳥やクイズの答えを資料で確認
します。



体験学習の様子 ～石狩ルート（陸上学習）



石狩地区地域防災施設の展示資料を使った川の学習ができます。



川の模型を使って、堤防や排水機場の働きを学びます。



茨戸川でよく見かける「ヒシ」の実や葉を観察し、長い茎を測ってみました。



写真資料を参考に文字カードを使って植物の名前をつくるゲーム形式の学習をしました。



カード資料を見ながら仲間と協力して植物を探してみました。



探し当てた植物の特徴を他の参加者の前で発表しました。



体験学習の様子 ～江別ルート



江別ルートは、千歳川河口付近から出港。
かつて江別港があった場所です。



港と鉄道があった江別は交通の要衝と
して栄え、製紙工場も作られました。



河岸にショウドウツバメのコロニーがあ
り、お盆頃まで飛翔する姿が見られます。



旧豊平川河口付近は、縄文期の遺跡がある
ほか、江戸期以降は交易の拠点でした。



デッキから石狩大橋を見えています。橋には
水道管も敷設されています。



デッキ観察で、発見したもの、気付いた
ことなどを全員で確認します。



体験学習の様子 ～江別ルート（陸上学習）



館内には、川とまちの歴史、治水や利水、川の生き物に係る展示があります。



別室で座学（水と生活の関わりについて）を行っています。



石狩川の舟運を支えた上川丸の実物大の模型を見学できます。



ボードを使って、川の知識、治水の大切さなどを知ることができます。



屋上からは、千歳川、石狩川、江別のまちが展望できます。



江別の名物「ヤツメウナギ」を獲る仕掛け「ドウ」が展示されています。